



地域を見守る、故郷を守る、まつり。

三

芳町には14の行政区があり、その中で唯一、女性で区長を務めているのが藤久保第6区の山田久美子さんです。

「うちの区は、若い世代がたぐさん行事に参加してくれませ。小さな子がいる世帯はママだけでなく、パパも積極的。そのほとんどは三芳町出身ではなく、最近転入してきた人が多いのの特徴ですね」と言う山田さんは、島根県出雲市出身。1985年に結婚を機に三芳町で暮らすようになりました。「私もそうでしたが、新しい地に慣れるために交流を持つと

藤

久保第3区にある『浅間神社』。この神社を守る浅間神社保存会には現在約50人の会員がいます。

「毎年、みよしまつりで保存会として御輿を担いで練り歩きをするんです」と話す保存会会長を務める西内一夫さんは東京都板橋区出身。当時はまだ三芳村だった約50年前に三芳町に来ました。「早く新しい地に馴染むように、積極的に地域の行事に参加しました。もともと人が大好きな性格なので、すぐに打ち解けることができました」と浅間神社

藤久保第6区区長を務める山田久美子さん(56)。島根県出雲市出身。1985年に結婚を機に三芳町で暮らすことに。みよしまつりの時は、けやき連で華麗な踊りを見せてくれます。

藤久保第3区区長の西内一夫さん(60)。東京都板橋区出身。浅間神社保存会会長、地域連携避難訓練実行委員長などを務め、地域のために尽力している。

と思ったとき、地域での行事に出るのが一番効果的です。その一つが夏の祭りなんです。祭りがきっかけで顔見知りになり、会話をすることで地域コミュニケーションが向上し、地域が一つになり得ると思います」と話す山田さんに「何やってるの?」と藤久保第6区の集会所からサークル活動を終えた地域の人たちが声をかけました。「三芳町の人たちは優しい人、

社^{はつひ}の法被の襟を正しながら話す西内さん。「毎年祭りの前、無事を願う富士山に登り、静岡県富士宮市の富士山本宮浅間大社に参拝し、お札^{お札}をもらいに行くんです」。先輩から代々受け継がれてきた浅間神社を守る想いが、地域を守る気持ちに繋がっていると言います。祭りについて伺うと「夏祭りには親子で参加してほしいですね。参加することで、地域に

社^{はつひ}の法被の襟を正しながら話す西内さん。「毎年祭りの前、無事を願う富士山に登り、静岡県富士宮市の富士山本宮浅間大社に参拝し、お札^{お札}をもらいに行くんです」。先輩から代々受け継がれてきた浅間神社を守る想いが、地域を守る気持ちに繋がっていると言います。祭りについて伺うと「夏祭りには親子で参加してほしいですね。参加することで、地域に

地域が一つになる、仲間になる。



藤久保第6区の結束力・団結力は、町民体育祭の綱引きでの3連覇に表れている。

が本当に多い。私も古くから可愛いがられてきました。地域の人たちは私にとって『仲間』なんです」と笑みを浮かべる山田さん。夏祭りや地区の行事は仲間作りになると言います。「近所づきあいが希薄と言われる昨今ですが、夏祭りなどの行事に参加することで、地域の結束力が強まり、支え合う仲間を作ることができます。また、地元への愛着も湧き、都内や地方から転入してきた人たちも新しい『故郷』と感じてくれます」。山田さんの考える祭りとは。「若い人たちが将来退職しても、地域の『仲間』は変わりません。楽しむだけではなく、地域が一つになれるのが祭りの魅力です」。

愛着を持ち、子どもと大人、地域のコミュニケーションをとる機会になります」。祭りでは登場する御輿。「御輿を通じて地域に少しでも目を向けてほしい、地域の楽しさを感じてほしいと思います。大人になっても子どもころの思い出は色褪せません。御輿は地域を盛り上げる『地域おこし』なんです」と目を輝かせて話す西内さん。最後に今後の展望を伺いました。

「若い人たちが地域に関心を持って、地域が活性化されます。地域の行事を盛り上げ、『家族』を増やしていきたいです」。

御輿は、「地域おこし」。



せんげんじんじや 浅間神社

とうじょういん せんだつ 東乗院の先達(修験者)が秩父から藤久保に移り住んだ際に勧進したものと伝えられています。浅間信仰は富士山を対象とする信仰で、富士山を見立てた高塚の頂に祀られることが多い。この浅間神社もかつては15メートルもの高塚に祀られていたと言われています。

木ノ宮地蔵堂



縁日には出店が並び、上富の山車も登場し、地域の子もたちによるお囃子も披露される。

春と夏の縁日

古くから信仰を集めてきた上富にある木ノ宮地蔵堂。伝説で建立は、坂上田村麻呂の時代と聞きますから、平安時代の初めのころと言われます。現在の本堂は安永6年、今から235年前に再建されたものです。

縁結び・子授かり 安産にご利益

縁結び・子授かり・安産にご利益があるとされ、4月・8月の23・24日に行われる縁日には親子連れで訪れる姿が見られ、露店が立ち並び、たくさんの人でにぎわ

います。この「富の地蔵さま」の縁日、昔はもつと盛大に行われ、六間道に高さ12メートルの幟旗を立てたり、やぐらを組んで提灯や吉野花を飾ったりしていました。

8月23日・24日

今年も8月23日(火)と24日(水)に縁日が行われ、23日は上富1・2・3区の盆踊りも境内で開催されます。縁日の日だけ本堂の扉が開き、江戸時代に描かれた貴重な本堂の天井画を見ることが出来ます。町の歴史に触れながら、祭りを楽しんでみてはいかがでしょうか。



【木ノ宮地蔵堂】住所：三芳町上富 1501 ※ライブバス地蔵前下車すぐ